



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第35号

2012年10月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

【患者の権利と義務】

◇患者の権利

- 1.良質で公平な医療を受けられる権利があります。
- 2.人格や価値観を尊重される権利があります。
- 3.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 4.治療法を選択できる権利があります。
- 5.病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
- 6.個人情報を守られる権利があります。
- 7.貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者の義務

- 1.ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
- 2.検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
- 3.他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
- 4.医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目 次

- | | |
|---|---|
| 2 | 「精霊流し体験記」 事務部長
「がん化学療法における薬剤師のかかわり」 薬剤科長 |
| 3 | 第3回市民公開講座を開催して |
| 4 | 第4回市民公開講座開催のお知らせ |
| 5 | 「下肢閉塞性動脈硬化症について」
心臓血管外科医長 |
| 6 | 外来診療担当表 |

精霊流し体験記

事務部長
福谷 学

喧噪な蝉の鳴き声が去り、涼やかな鈴虫の鳴く声に、秋の訪れを感じる季節になりつつあります。暑さ、寒さも彼岸までと言われているので、本格的な秋の訪れにはもう少し時間が必要かと思います。

さて、今年のお盆は、全国的に有名で長崎県の風物詩にもなっている「精霊流し」を体験して参りましたので少し紹介させていただきます。

精霊流しは、新盆を迎える家庭で、精霊船を仕立て、お供えを添えて故人の霊を西方浄土に送る風習で、長崎の各地で実施されています。

さだまさしのヒット曲「精霊流し」のなかでは「線香花火が見えますか、空の上から」と歌われているように、しめやかなイメージを抱かせますが、実際は、花火、爆竹が炸裂し、耳栓が必須アイテムでした。この爆竹の由来は諸説ありますが、「魔除け」として精霊船が通る

道を清めるという説もあるようです。

精霊船の前で竿にぶら下げて二人で担いだ証をチャーンチャーンと打ちならし、「ドーイ、ドーイ」の掛け声とともに数キロメートルの道程をそろいの法被や、Tシャツを着た親類縁者が精霊船を引いて「流し場」と呼ばれる終着点まで運んで行くのですが、提灯等で飾り付けされた精霊船が次から次へと途切れることなく進む様子を目の当たりにし、大きな感動を覚えました。

最後に、送り場についた精霊船から不燃物を取り外し廃棄物を分別する心遣いに至っては、環境問題にまで配慮し、地域の伝統行事をみんなで盛り上げ、大切に後世に伝えていくという一体感を感じ、こんな有意義な体験をすることが出来た一日でした。

がん化学療法における薬剤師の関わり

薬剤科長 砂金 秀美

当院では主に肺がん及び乳がんのがん化学療法を実施している。

がん化学療法のチーム医療は感染制御チーム（ICT）や栄養サポートチーム（NST）などと同様、医師、薬剤師、看護師及び関連職種で構成され、それぞれの専門性による役割とお互いに連携することにより、患者中心の医療を実現するものである。その結果、個々の患者にとって、より有効で安全性の高い抗がん剤治療が可能となる。

薬剤師の役割は、抗がん剤の適正使用と医療安全に貢献することである。適正使用への貢献として、当院がん化学療法委員会の事務局を務め、レジメン（治療計画書）の作成及び登録・変更に関わっている。また、国内外のがん治療学会の最新情報を収集・評価し、レジメンの最適化に努めている。現時点でのレジメン登録数は34種43件である。さらに、平成23年10月病院情報システムが更新され、新たにレジメンオーダが加わった。レジメンオーダでは、各レジメンをセット処方登録化することにより、投与量及び投与スケジュールが自動計算及び登録される仕組みとなっている。医療安全への貢献として、抗がん剤は免疫が低下

した患者に投与される場合が多く、調製する際には、微生物による汚染を防止するために無菌処理が求められる。また、医療従事者の抗がん剤暴露が報告されており、安全キャビネット内での調製が推奨されている。さらに、抗がん剤のほとんどは治療係数（投与量）の幅が狭いため、調製は正確を期さなければならない。薬剤科では、平成23年1月より薬剤科内に安全キャビネット（抗がん剤調製室）を設置し、薬剤師による抗がん剤の無菌調製を開始した。また、調剤支援システムを利用した処方監査を強化し、投与量及び投与間隔、支持療法、調製量のチェックを行っている。また、外来治療患者においては、お薬手帳を利用した保険調剤薬局や他医療機関等への情報提供として、抗がん剤治療内容のお薬手帳貼付用ラベルを交付している。

今後薬剤師は他職種との連携をさらに深め、チーム医療をより推進していきたい。



第3回市民公開講座を開催して

経営企画室長 武永 幸一

**国立病院機構 和歌山病院**
第3回 市民公開講座
心臓
のおはなし
～あなたを襲う突然の病！！～
日時 平成**24**年**7**月**29**日(日)
13:00～15:00(開場12:00～)
開場 湯浅町総合センター
有田郡湯浅町湯浅2707-1(☎ 0737(63)4152)
講演 「心臓病にならないために」
診療部長 豊田康誠
「生活習慣病予防 あなたは大丈夫??」
副看護師長 川崎 洋子
その他 「測定コーナー」を設置します。
(12:00～12:50頃及び講演終了後)
【主催】独立行政法人国立病院機構 和歌山病院 地域医療連携室
0738(23)3921 <http://www.wakayama-hosp.jp/>

参加
無料

平成24年7月29日(日)湯浅町にある湯浅町総合センターにて、近隣住民を対象とした「第3回市民公開講座」を開催いたしました。

3回目の今回はテーマを「心臓のおはなし」に決定し、豊田内科系診療部長、川崎副看護師長の講演を行いました。また、講演以外にも血圧測定、SPO2測定も実施したので、2時間程の講演でしたが参加された方は満足いただけたのではないのでしょうか。

今回は、心臓の病気に関して幅広く分かり易い講演であったのですが、初めて御坊・日高医療圏を離れ湯浅町での講演を行ったこともあり、第2回目の講演と比べ参加者が少なかった事が残念でなりません。

近隣以外の地区での広報の不慣れや各地で行われた防災訓練と公演日が重なってしまったこと、夏真っ盛りの猛暑の昼間が開演時間であったこと等、皆さんが外出に不向きな日を選んでしまったことが

が原因であると考えていますが、これに懲りず、第4回目の講演は大盛況するため、様々な計画を考えてまいります。

今回の「心臓の講演」については、近隣地区でも同じ様な講演を計画し、皆様に参加していただきたいと考えておりますので、その際はご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

多数のご参加ありがとうございました



国立病院機構 和歌山病院

第4回

市民公開講座

知っていれば怖くない

肺の病気のお話

日時

平成**24**年**10**月**27**日(土)

13:00～15:00 (開場12:00～)

会場

御坊市民文化会館

御坊市藺258番地2 ☎ 0738(23)4881

講演

「肺がんについて(仮題)」

小野 英也 呼吸器内科医長

「肺がんの看護(仮題)」

加納 昌明 副看護師長(認定看護師)

西川 貴子 副看護師長(認定看護師)

その他

「血圧、血管年齢、一酸化炭素濃度」等
測定コーナーを設置します。

お気軽にお立ち寄り下さい。

(12:00～12:50頃及び講演終了後)

予約

事前にご予約をお願いいたします。

(和歌山病院 地域医療連携室 ☎ 0738(23)3921

参加無料

【主催】 独立行政法人国立病院機構 和歌山病院 

0738(23)3921 <http://www.wakayama-hosp.jp/>

「下肢閉塞性動脈硬化症」について

心臓血管外科医長 畑田 充俊

☒ 下肢閉塞性動脈硬化症とは？

動脈は、心臓から送り出された血液を全身の臓器や手足の筋肉へ運ぶ血管です。動脈が狭くなることを狭窄、つまってしまうことを閉塞といいます。動脈硬化で足（下肢）の動脈に狭窄や閉塞が起こる血管の病気を下肢閉塞性動脈硬化症といいます。下肢閉塞性動脈硬化症は、動脈硬化の部分症状です。従って、この病気は下肢の血行障害のみでなく、全身的な疾患と考える必要があります。狭心症や心筋梗塞、脳梗塞などの合併や将来の発症に注意しなければなりません。

☒ 下肢閉塞性動脈硬化症の症状

主な症状として間歇性跛行があります。しばらく歩くと下肢のだるさや痛み等から歩けなくなり、しばらく休むと再び歩けるようになる症状が間歇性跛行です。重症例では安静時下肢疼痛があります。最終的には皮膚が黒くなる・潰瘍や壊死が起きている場合があります。症状が自覚できない場合でも、無意識に症状が出現しないような日常生活を送っていたか、あるいは歩けなくなったのは加齢のためかと思ひ込んでいることがあり慎重な問診が必要です。



下肢閉塞性動脈硬化症により下肢壊死に陥っています

☒ 診断

最も簡便な診断法は、脈拍の触知と血管雑音の聴取です。動脈がどの部位で触知ができて、どの部位で触知しないか、左右差はないかにより、ある程度閉塞部位の診断も可能です。



CT検査で、腹部大動脈から両側腸骨動脈までの閉塞が診断できました。

無侵襲的検査として、超音波ドップラーを用いた足関節上腕血圧比（Ankle brachial pressure index: ABI）が最も用いられています。これらの検査により下肢閉塞性動脈硬化症の疑いが強いと、CTや血管造影検査を行い、ど

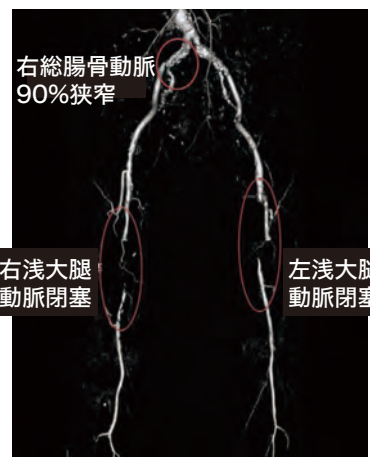
の血管が狭窄や閉塞をきたしているか診断します。

☒ 治療法

初期では、薬物療法（アスピリンやシロスタゾールによる抗血栓療法）と運動療法が有効です。間歇性跛行などの症状がある場合には、基本的には血行再建術の適応です。血行再建術には、血管内治療と外科的血行再建術（バイパスなど）があります。近年では、糖尿病などの増加により下肢動脈病変が複数ある症例が増加してきています。血行再建術は、血管内治療と外科的血行再建術を組み合わせたハイブリッド手術が必要な場合があります。また、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの十分な治療ももちろん必要です。

☒ ハイブリッド手術

近年、複数の下肢動脈病変を有する症例が増加し、血管内治療と外科的血行再建術を組み合わせたハイブリッド治療が行われるようになってきました。当院で行った1例を提示します。75歳女性で、間歇性跛行を主訴に来院しました。既往歴として陳旧性心筋梗塞と脂質代謝異常症があります。術前造影CTで右総腸骨動脈に90%狭窄と両側浅大腿動脈の閉塞を認めます。



右総腸骨動脈 90%狭窄

右浅大腿動脈閉塞

左浅大腿動脈閉塞

手術は、右腸骨動脈血管形成術（ステント留置）、両側大腿動脈-膝窩動脈バイパス術を行いました。術後に間歇性跛行は消失しました。



右腸骨動脈血管形成術

右大腿動脈-膝窩動脈バイパス術

左大腿動脈-膝窩動脈バイパス術

このように、複数の下肢動脈病変を有する症例でも1回の手術で治療することができるようになりました。



		月	火	水	木	金
外 科	2 診	栗 山	担当医	平 井 (乳腺外来)	畑 田	有 本
循環器内科	3 診	楠 山	石 井	担当医	楠 山	水 越
	5 診	豊 田	尾 鼻	—	尾 鼻	豊 田
	4・6診	石 井	大原（せ）	—	—	大原（茂）
神経内科	6 診	中 西	—	河本（第2・4週）	—	河 本
呼吸器センター	初診	1 4 診	柳 本	川 端	市 川	小 野
		1 5 診	—	—	金 井	—
	再診	1 6 診	駿 田	小 野	柳 本	赤 松
		専門外来（午後）	—	—	睡眠外来 駿田（再診） COPD外来 担当医	禁煙外来 乾（第1・3週） 赤松（第2・4・5週）
			—	—		睡眠外来 駿田（初診） —

※再診については原則、予約制にしております。（急患についてはこの限りではありません）

※受付時間 8:30～11:30 診療時間 8:30～17:00

看護職員 募集中！

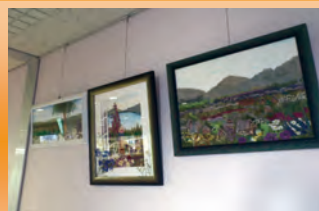
パートも同時募集中

経験年数に応じたサポート体制あり！
病院敷地内に宿舎（ワンルーム）、
保育所完備！



ボランティア募集！

例えば・・・外来案内、創作（フラワーアレンジメント・押し花等）、図書（読み聞かせ・貸出等）



押し花



フラワーアレンジメント

お問い合わせは TEL:0738-22-3256 管理課 給与係長まで

独立行政法人国立病院機構和歌山病院



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

院 長／楠山 良雄
副院長／駿田 直俊

診療部長（内科系）／豊田 康誠
診療部長（外科系）／有本 潤司
呼吸器センター長／柳本 立太

＜お問い合わせ＞

TEL 0738-22-3256（代表）

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008（地域医療連携室）

<http://www.wakayama-hosp.jp/>